

- 庁舎整備の検討状況・本庁舎の整備手法と条件
.....2・3面
- 本庁舎の建て替えについてアンケートにご協力ください
.....4面

2012年 2月18日(土) 本庁舎建て替え特別号
 (平成24年)

広報いちかわは新聞折り込みでお届けするほか、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。



市川市では、小学校や保育園など、市の建物の耐震補強工事を計画的に行っていますが、本庁舎については、耐震性が著しく不足しているだけでなく、補強も難しい状況にあります。

そこで、地震に対する安全性を確保していくため、建て替えを検討していますが、これまでの検討により、現在の本庁舎敷地だけでは必要な面積の確保ができず、一部を分散しながら現在の本庁舎の建

市役所本庁舎の建て替え あなたの意見をお聞かせください

本紙・eモニター・郵送でアンケート

て替えを行うか、全面移転して建て替えをしなければならぬ状況です。

そこで、今後、本庁舎の建て替えをどのように進めるべきか、皆さんのご意見を募集します。より多くの方にご協力いただくため、本紙3・4面の紙上アンケートに加え、eモニターと無作為抽出による郵送アンケートも行っています。

(管財課)

本庁舎の状況
 こんな問題を抱えています

●地震への安全性

本庁舎(八幡1丁目)は、耐震診断の結果、震度6強を超えるような大地震によつて、倒壊する危険性が高い状況です。今後、いつ発生してもおかしくないといわれている

●庁舎の老朽化やバリアフリー化の遅れ

本庁舎は、これまで行政需要の拡大に伴う増改築を行ってきたため、3つの建物に分かれており、増築の際に生じた段差が庁舎の間にあるなどバリアフリー化が進められず、また窓口の待合スペースも不足している状況です。さらに、最も古いものは築50年以上が経過し、老朽化も進んでいます。

「東京湾北部地震」「東海地震」などがあれば、市役所としての機能が損なわれるばかりでなく、防災拠点として被災者の救助や支援、さらには復興活動ができません。ご予想されます。

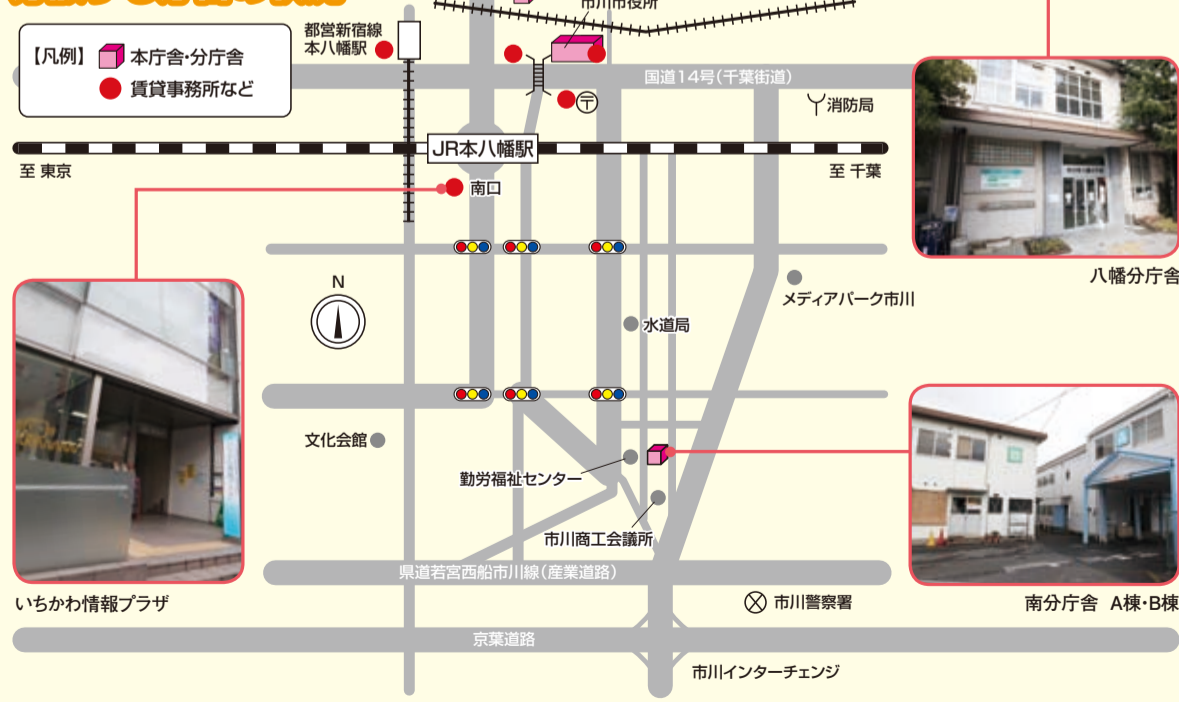
庁舎名	本庁舎		
	第1庁舎	第2庁舎	第3庁舎
建築年(築年後)	昭和34年(52年)	昭和46年(40年)	昭和54年(32年)
耐震性※	0.33	0.34	0.94

※耐震性はIs値(建物の耐震安全性を示す指標)による。防災拠点として安全性を確保するための目標値は0.9以上。



増築の際に生じた庁舎間の段差

分散する庁舎の状況



いちかわ情報プラザ



八幡分庁舎



南分庁舎 A棟・B棟

●庁舎の分散

本庁舎で行うべき業務は、葛飾八幡宮となりの八幡分庁舎、市川インターチェンジ北側にある南分庁舎の2カ所の分庁舎のほか、民間ビルの一部を事務所として借りているものなども含め、本庁舎の他に、周辺だけでも7カ所に分散して行っている状況です。